

2024.8.1-2025.1.31

# 池田屋ビル for now

IKEDAYA-BLDG.



まちなかの空きビルで「とりあえず」はじめてみる

produced by 富士山まちづくり株式会社 / 勝丸丸山建築計画



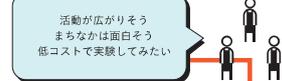
静岡県富士市・富士本町商店街にある空きビルのひとつ、「池田屋ビル」。  
\_for nowでは、このような場所をまちなかの大切な資源ととらえ、オーナーの協力のもとトライアルメンバー（長期出店者）によるお試し出店等の場として約6ヶ月間開放しました。

ここでは、新たな取り組みを「とりあえず」始める意欲ある人が活動の種を持ち寄り、仲間と出会って様々な出来事を巻き起こしました。約6ヶ月間の成長と次のステップへと花開く軌跡をご覧ください。

\_for nowの仕組み



\_for nowが入居候補者をコーディネート



コミュニティの創出



新事業者の入居



まちなか物件オーナーの方へ  
まちなかへのお出店・開業希望の方へ  
お問い合わせ 富士市役所 商業労政課  
電話 0545-55-2907 (平日 8:30~17:15) メール sy-eyougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

## 『\_for now』から花開いた活動と声

「\_for now」で育まれる地区や人との繋がり

岡田 裕一 富士市役所 産業交流部 商業労政課長

富士市は、中心市街地の空き店舗等活用促進事業において、不動産所有者と出店希望者を結びつけることに腐心しております。令和5年度は、複数出店者による長期のお試し出店「\_for now」事業として、吉原商店街の「紙内田ビル」を実施しました。序盤は同じ場所にいるだけだったメンバーが次第に空間と時間を共有し、商店街との結びつきにも発展して、メンバーのうち1件が吉原商店街に出店となりました。紙内田の実績のおかげで、本年度の富士本町商店街の「池田屋ビル」は、当初からメンバー同士が空間の使い方や集客の仕方話し合い、事業としての成長が見られました。少しずつ配置やメニューなどをブラッシュアップしていく様子は、試行錯誤して自分のスタイルを探す「\_for now」事業の狙い通りでした。富士駅周辺地区へのお出店を決意したメンバーは、この場所のでられたエネルギーの勢いと、半年間かけて築いた地区や人との繋がりに背中を押されたように思います。令和7年度については、富士と吉原の高商店街において3か月のお試し出店事業を実施します。今後も市では、空き店舗の活用を目指し、チャレンジショップとして利用できる場を用意していきたいと考えています。

令和6年度、富士本町商店街で実施した「池田屋ビル」\_for nowは、令和5年度に吉原商店街で実施した「紙内田ビル」\_for nowに続き富士市における「\_for now」事業2期目の試みとなりました。事業主体である富士市役所、ビルを開放したオーナー、「\_for now」参加を機にまちなかへのお出店開業を達成した事業者の声をご紹介します。



オーナーの池田さん、一部トライアルメンバー、来店客の方でビルの屋上に集合！

モノを売り買いする場所から、人が出会いつながる場所へ

池田 佳子 池田屋ビル オーナー

池田屋ビルには1980年代から衣料品店が入居していました。2008年にテナントが撤退する前後に商店街全体が「シャッター通り化」。ビルオーナーも高齢化し、人材不足が嘆かれるようになりました。そんな状況の中、私は街で活動する意欲を持つ方々と「一緒に楽しもう！」という気持ちで、芸術イベント等の場として利用いただけるようスペースを提供してきました。その後、目に留まるディスプレイや声掛け、屋外から室内への導線を工夫したり、時間ごとの人通りなどをチェックしながら皆で話し合いを重ねてきました。気がついたら店先から笑い声やお客様とのかけ合いが聞こえるようになり、嬉しく思いました。地域行事等にも積極的に参加され、商品開発なども実現できたことは、大きな成果だったと思います。若い人達のコミュニケーション力は、商店街がモノを売り買いする場所から、人が出会いつながる場所に変化する後押しをしてくれたような気がします。終了したことを知らずに再来店される方、「若い人達の声が聞こえなくなってる寂しい」と話すご近所の方もいます。あつという間の半年間、街を元気にしてくれてありがとうございます。

池田屋ビル 建築データ  
建築年：昭和48年  
構造：階数：鉄骨コンクリート造 地上4階地下1階  
所在地：静岡県富士市南町4-1-1



池田屋ビルの風景を眺めながら、出店者と歓談するお客さんも多く見られました。

「醸造家+酒屋」だから商店街に提案できるお酒の楽しみ方

宮脇 浩樹 Badass Beer Base

2022年からファントムブルワリー（\*）を始め、卸販売・ECイベントなどを中心に活動してきました。地域のイベントでお客様にビールを飲んでいただいた際、「どこで買えるの？」という声を多く聞き、流しの醸造家でも拠点となる場所が必要だと日々感じていました。そこで「紙内田ビル」\_for nowにトライアルメンバーとして参加し、吉原商店街の雰囲気を感じながら営業することができました。商店街と言っても、人通りが少ない地域でアクセスしづらい場所なので、ただ店をオープンして待っていてもお客さんは来ません。「\_for now」期間中は、認知してもらうためにも商店街内のお付き合いのある飲食店さんにセレクトしたクラフトビール

を卸す活動を始めました。同じエリア内でもお店によって売れるビールの種類も異なり、細かに需要が異なります。各卸先店舗に合う商品と提案することは自分だけではできない強みだと感じることができました。「\_for now」終了から半年以上かけて店内をDIYし、満を持して2024年10月にポルトショップを出店しました。ファントムブルワリーとしては現在も自身のブランド商品の製造販売、他社クラフトブルワリーのブルワリー業務のサポート、クラフトジンなどビール以外の酒類の商品開発なども積極的に行っています。今後もBadass Beer Baseの活動に興味をもっていただけたら幸いです。



店舗情報  
所在地：富士市吉原2-11-16 2階  
営業時間はインスタグラム @badassbeerbase をご確認ください

\*ファントムブルワリー：固定の拠点を設け、各地の提携醸造所にてビールの醸造を行う活動形態。

